自給粗飼料多給による乳牛育成管理技術

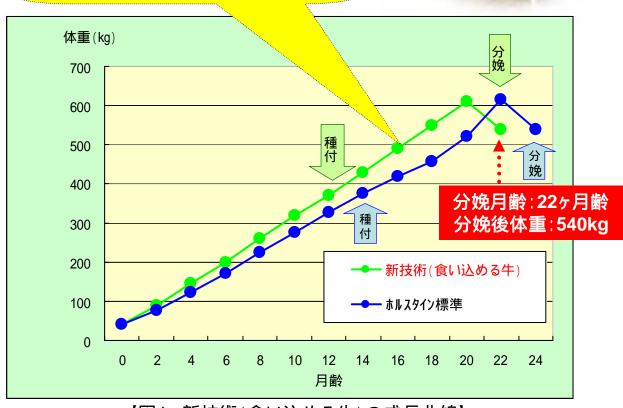
- イタリアンライグラス多給(エネルギー要求量の80%)で 分娩後の乾物摂取量が高まります -

開発の背景・ニーズ

乳用牛の飼養管理は、初産分娩後体重540kg以上を目標として育成しますが、 育成後期(妊娠期)については、<mark>過度な発育が乳腺機能の低下を招く</mark>こ とから、この間に発育速度を高め過ぎないこと(日増体量(DG)が1.0kg以 下)が、安全な分娩と乳生産性の向上につながるとされています。

そこで、自給粗飼料のイタリアンライグラスを多給することによる、 分娩後の乾物摂取量が高まる(食い込める牛)育成技術の開発に取り 組みました。

育成後期はDG0.95kgが理想です 1.0kgを超えると危険(過肥)!



【図1 新技術(食い込める牛)の成長曲線】



技術の概要

乳牛育成牛(体重200kg~分娩予定2ヶ月前)において、イタリアンライグラス多給(エネルギー要求量の80%)の飼養管理で、高発育(日増体量0.95kg)が可能です。また、分娩後の乳生産も問題なく、分娩後の飼料摂取量が高まります。

【表1 新技術(食い込める牛)の飼養管理表】

イタリアンライグラスは 水分含量により給与量が 異なってきます!

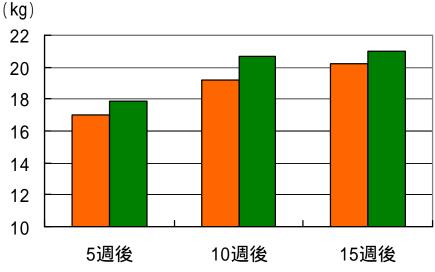
	体重 (kg)	体	高を目安に決定	給与量(kg/日)			
月齢		体高 (cm)	目標乾物 摂取量 (kg/日)	育成 後期 配合	イタリアンライグ・ラスの給与量 水分含量		
					40%	小刀 凸里 50%	60%
6	200	108	4.9	1.1	6.6	7.9	9.8
7	230	112	5.4	1.2	7.2	8.7	10.9
8	260	116	5.9	1.3	7.9	9.5	11.9
9	290	120	6.9	1.5	9.2	11.0	13.8
10	320	122	7.5	1.7	9.9	11.9	14.9
11	350	124	8.0	1.8	10.7	12.8	16.0
12	370	126	8.5	1.9	11.4	13.7	17.1
13	400	128	9.1	2.0	12.1	14.5	18.2
14	430	130	9.6	2.1	12.9	15.4	19.3
15	460	132	10.2	2.3	13.6	16.3	20.4
16	490	133	10.7	2.4	14.3	17.2	21.5
17	520	134	11.3	2.5	15.0	18.0	22.6
18	550	135	11.8	2.6	15.8	18.9	23.7
19	580	136	12.4	2.7	16.5	19.8	24.7
20	610	137	12.9	2.9	17.2	20.7	25.8
21	630	138	13.5	3.0	18.0	21.5	26.9
22	540	139	14.0	3.1	18.7	22.4	28.0

イタリアンライスが低品質(粗タンパク質含量10%以下等)である場合 や目標乾物摂取量をクリアできない牛の場合、発育不良になる可能性ありま すので注意してください!

優良後継牛に育てるには、本技術のような粗飼料多給だけでなく、同時によく運動させることも必要です。

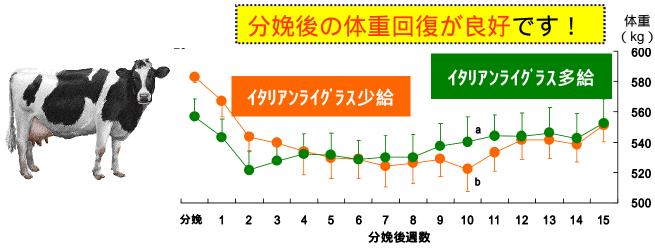
分娩後の乾物摂取量が高くなる可能性があります!

■ イタリアンライグラス少給 ■ イタリアンライグラス多給

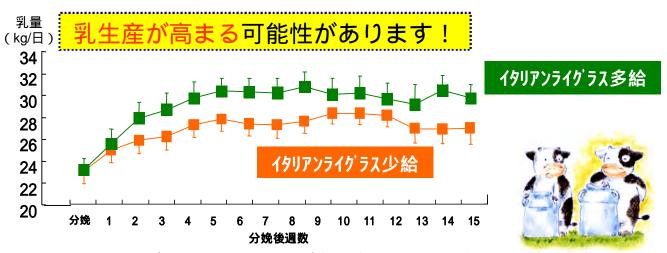




【図2 イタリアンライグラス給与量の違いが分娩後の乾物摂取量に与える影響】



【図3 イタリアンライグラス給与量の違いが分娩後の体重に与える影響】



【図4 イタリアンライグラス給与量の違いが乳生産に与える影響】

イタリアンライグラスの品質は、品種、ほ場条件、収穫時期、貯 蔵状態などにより、こんなに違います!

				保存形態	飼料成分(乾物中)	
県名	品種	収穫時期	生育ステージ		CP 含量	推定 TDN
愛知県 農業総合 試験場	エクセレント	H18年5月中旬 ~下旬	出穂期 1番草	サイレーシ	8.2%	47.4
		H19年5月上旬	出穂期 1番草	サイレーシ	6.7%	51.9
	マックス	H22年5月上旬	出穂期 1番草	サイレーシ	10.8%	
茨城県 畜産 センタ-	タチワセ	H18年5月中旬	出穂期 1·2番草	ロールペール	10.8%	50.8
	ヒタチヒカリ	H19年5月中旬 ~7月下旬	出穂期 1·2·3番草	ロールベール	8.4%	52.4
千葉県	タチワセ	H18年4月下旬	出穂期 1·2·3番草	ロールペール	19.3%	53.4
│ 畜産総合 研究	ミナミワセ	 H19年4月上旬	出穂期 1·2·3番草	ロールベール	12.0%	53.5
センター	ニオウダチ	~7月上旬				
 神奈川県	ハナミワセ	H18年4月下旬	出穂期 1番草	ロールペール	18.0%	59.0
農業技術	ハナミワセ	H19年3月下旬	出穂期 1番草	ロールベール	13.3%	54.9
センター	タチマサリ	~ 5月上旬				
石川県	ワセアオハ゛	H18年5月上旬	出穂期 1番草	ロールペール	12.9%	51.7
畜産総合 センター	エース	H19年5月中旬 7月下旬	 出穂期 1·2番草 	ロールペール	8.9%	57.4
富山県	ナカ・ハヒカリ	H18年5月中旬	出穂期 1番草	乾草	8.4%	53.2
│ 農林水産 │ 総合技術	ナカ・ハヒカリ	H19年5月下旬	出穂期 1番草	乾草	6.4%	52.7
センター	タチワセ	日は十八日と日	山ඟ别「笛牛			

品質(CP)アップの方法

<mark>栽培・収穫時期、品種の見直し</mark>

施肥量の見直し、肥効調節型肥料の利用

土壌診断、堆肥成分の確認 など

当試験場では、H22年の収穫分から、基肥に肥効調節型肥料を用いることにより、追肥を行わなずにCP含量アップに成功しました!

【農林水産省委託プロジェクト研究「H18~21粗飼料多給による日本型家畜飼養技術の開発」による成果です】



編集・発行 愛知県農業総合試験場 〒480-1193 愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ケ峯1-1 TEL 0561-62-0085 内線322 (企画普及部) FAX 0561-63-0815 http://www.pref.aichi.jp/nososi

問い合わせ 畜産研究部牛グループ 内線561